

情報リテラシー

責任者・コーディネーター	情報科学科医用工学分野 高橋 史朗 教授		
担当講座・学科(分野)	情報科学科医用工学分野		
担 当 教 員	高橋 史朗 教授		
対 象 学 年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	前期		

・学習方針（講義概要等）

"読み書き算盤"という学びの基本を示した古くからの言葉があるが、その本質は色褪せることがない。複雑な現代社会の中で病める人々と向き合わなくてはならないこれからの医療人にはさらに"聴く・話す"能力も求められる。コンピュータと関連機器は、これらの学びの基本の習得および実践活用を強力にアシストする現代の神器である。しかし、ボタンを1個押せばあとは御任せというわけにはいかない。本科目は、習得訓練によってコンピュータと関連機器を勉学・研究生活の強力無比なアシスタントとして、倫理観をもって操る能力を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

情報機器、アプリケーションソフトウェア、ネット等を道具として実践的に利用しながら、より実社会、専門領域等につながる ICT 活用の基礎知識・基本概念を修得することによって、ICT 活用の基礎理解を深め、情報リテラシー能力を高める。このことにより、実社会や専門領域等で出会う、種々の情報関連課題に対して、ICT を用いて情報収集・分析し、適正に判断し、モラルに則って、迅速に効果的に対処する能力を会得することができる。
また、情報ネットワーク社会の構成員としての自覚と責任を十分に理解することで、LAN やインターネットをコミュニケーションツールとして利用する際、情報ネットワークの倫理規範等に従って安全に情報を活用することができる。（ディプロマ・ポリシー：8）

・到達目標（SBO）

- 1.基本操作およびファイル管理システムを理解し、フォルダ・ファイルの管理が円滑に行える。
- 2.ネットワークエチケットの大切さをより深く認識できる。
- 3.情報セキュリティの基本を理解して協調的にネットワークに参加できる。
- 4.コンピュータのハードウェア・ソフトウェアの基本構成とインターネットの仕組みを説明できる。
- 5.オフィス関連ソフトを利用できる。
- 6.ウェブページ表現の基礎を説明できる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
6/5	水	3	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>コンピュータの基礎：講義・実習</p> <p>1.ハード/ソフトウェアの構成と役割について説明できる。</p> <p>2.データファイルの複写などの PC の基本操作ができる。</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p>
6/5	水	4	数学分野	高橋 史朗教授	<p>情報の編集と文章化(1)：講義・実習</p> <p>1.文書ファイルの作成や保存ができる。</p> <p>2.ビジネス文書を作成することができる。</p> <p>A-2-2)③, A-8-1)③</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p> <p>事後学習：実習課題に取り組み, 次回授業前日までにレポートを Webclass へアップロードすること。</p>
6/13	木	3	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報の収集：講義・実習</p> <p>1.インターネットの概要を説明できる。</p> <p>2.インターネットに接続し、Web サイトを閲覧できる。</p> <p>2.Web 検索エンジンを利用し、安全に情報を収集できる。</p> <p>A-2-2)①, A-8-1)③</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p>
6/13	木	4	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報共有とセキュリティ：講義・実習</p> <p>1.情報セキュリティを概説することができる。</p> <p>2.パスワード, 暗号化などの対処法を理解して利用できる。</p> <p>A-1-1)⑤, B-4-3)①</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p> <p>事後学習：実習課題に取り組み, 次回授業前日までにレポートを Webclass へアップロードすること。</p>

6/20	木	3	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報の要約と分析(1)：講義・実習</p> <p>1.関数を用いて簡単な計算表を作成することができる。</p> <p>2.データを視覚化することができる。</p> <p>A-2-2)①②, A-8-1)③</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p>
6/20	木	4	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報の編集と文章化(2)：講義・実習</p> <p>1.複合文章を作成することができる。</p> <p>A-2-2)③, A-8-1)③</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p> <p>事後学習：実習課題に取り組み、次回授業前日までにレポートをWebclass へアップロードすること。</p>
6/27	木	3	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報の要約と分析(2)：講義・実習</p> <p>1.関数を用いて簡単なデータ解析を実施できる。</p> <p>A-2-2)①②, A-8-1)③</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p>
6/27	木	4	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報の提示と発信(1)：講義・実習</p> <p>1.効果的な発表用スライドを作成することができる。</p> <p>A-2-2)③, A-8-1)③</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p> <p>事後学習：実習課題に取り組み、次回授業前日までにレポートをWebclass へアップロードすること。</p>
7/4	木	3	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報の提示と発信(2)：講義・実習</p> <p>1.SNS などのネットサービスの仕組みを理解し、安全に利用できる。</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p>
7/4	木	4	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報倫理：講義・実習</p> <p>2.法律や倫理などを理解して、情報発信ができる。</p> <p>A-1-1)⑤, B-4-3)①</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p> <p>事後学習：実習課題に取り組み、次回授業前日までにレポートをWebclass へアップロードすること。</p>

7/11	木	3	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>情報社会：講義・実習</p> <p>1.IT、ICT によるサービスの仕組みを概説できる。</p> <p>2.IoT の基礎を理解できる。</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p>
7/11	木	4	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>医療現場における情報化：講義・実習</p> <p>1.医療情報システムの概略を説明できる。</p> <p>2. 医療情報システムなどのビッグデータの利活用の動向について理解する。</p> <p>A-9-1)②③④, B-4-3)①</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p> <p>事後学習：実習課題に取り組み、次回授業前日までにレポートを Webclass へアップロードすること。</p>
7/18	木	3	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>その他の技術：講義・実習</p> <p>1.電子メールシステムを概説できる。</p> <p>2.Web ページと HTML の仕組みを理解する。</p> <p>3.LAN, WiFi, 携帯電話網の死栗を理解して、利用できる。</p> <p>4.様々なデジタルデバイスの理解を深め、利用できる。</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p>
7/18	木	4	数学分野	高橋 史朗 教授	<p>総合問題：講義・実習</p> <p>1.総合な問題を解くことによって修得知識、技能等を確認し、理解を深め、将来への対応力を高めることができる。</p> <p>事前学習：Webclass から講義資料をダウンロードし通読すること。</p> <p>事後学習：実習課題に取り組み、7/26(金)までにレポートを Webclass へアップロードすること。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2019	久野 靖 他監修	日経 BP 社	2019

参	改定新版 よくわかる情報リテラシー	岡本 敏雄 監修	技術評論社	2017
参	学生のための情報リテラシー	若山 芳三郎	東京電機大学出版局	2014
参	パワポで極める常勝プレゼン	住中 光夫	アスキー・メディアワークス	2011
参	HTML5&CSS3 辞典 第2版	アंक	翔泳社	2013

・成績評価方法

大よそ、課題提出も含めて積極的な取り組み状況を 40%、課題内容を 60%として SBO 基準で総合的に評価する。

・特記事項・その他

- 1.各自、所有のノート PC(MS Windows 10/Office 2016 以降、最新セキュリティ対策済)を持参すること。
- 2.本シラバスおよび実施済授業の内容から次回の授業内容を各自で確認して、教科書・レジュメ等を用いて事前・事後学修を最低 30 分行うこと。
- 3.提出された課題レポートが紙媒体の場合は採点后、必要に応じてコメント等を付けて返却する。

【参照】

「歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成 28 年度改訂版）」

「歯学教育モデル・コア・カリキュラム—教育内容ガイドライン—（平成 22 年度改訂版）」

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート PC(MS Windows/Apple Mac)	1	担当教員資料作成、講義プレゼン
講義	ノート PC(MS Windows)	2	実験実習補助者資料作成、講義補助
講義	教室付属 AV システム一式	1	資料提示、講義プレゼン
講義	教室付属プリンタ	2	課題作成
講義	スマートデバイス(タブレット/スマホ: Apple iPad/Android)	2	資料提示、講義プレゼン